

CTCAEのGradeの定義と解釈

Grade	重症度の説明	対応
1	軽度の症状がある。 検査所見のみ。 治療を要さない。	経過観察
2	中等症 最小限/局所的/非侵襲的治療を要する 年齢相応の <u>身の回り</u> 以外 の日常生活動作の制限*	介入が必要 治療は継続または延期
3	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する; <u>身の回りの日常生活動作</u> の制限**	病院への受診が必要 治療は延期または中止
4	生命を脅かす ; 緊急処置を要する	緊急受診が必要
5	副作用による死亡	

有害事象共通用語基準 v5.0 日本語訳JCOG版(CTCAE v5.0-JCOG)一部改変

*身の回り**以外**の日常生活動作 (instrumental ADL) 衣食住、労働に**直結する**動作:食事の準備、日用品や衣類の買い物、電話の利用、金銭管理など

身の回りの日常生活動作 (self care ADL) 衣食住、労働に直結しない**動作 : 入浴、食事の摂取、トイレの利用が可能で寝たきりではない状態。生活維持に必要な最低限の身の回りの動作を自ら行うことができる。

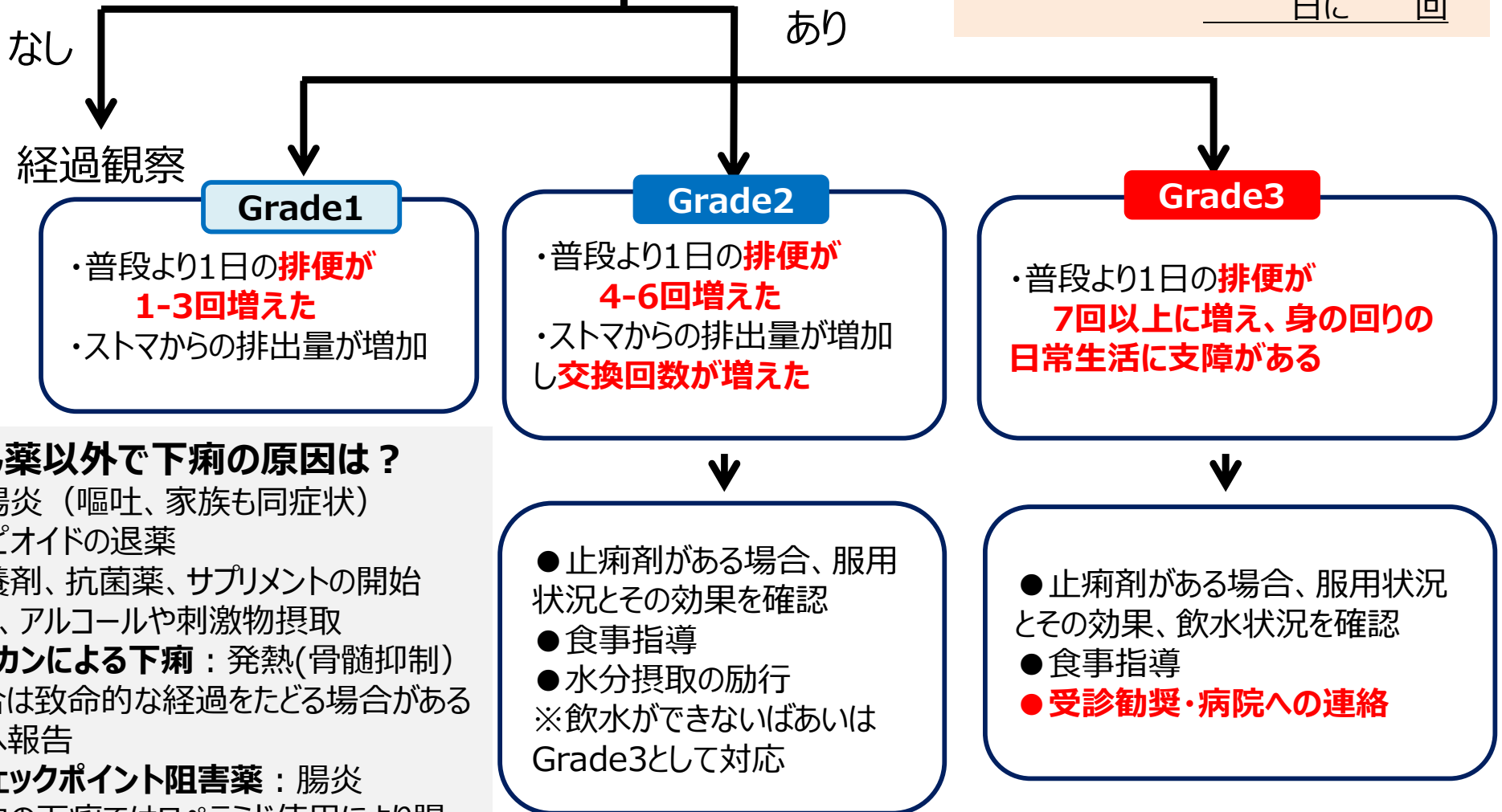
下痢

下痢はありましたか？

〈頻度〉 _____ 日に _____ 回

〈性状〉 水様便・泥状便・軟便
普通便・硬便

〈通常の排便（ベース）〉
_____ 日に _____ 回

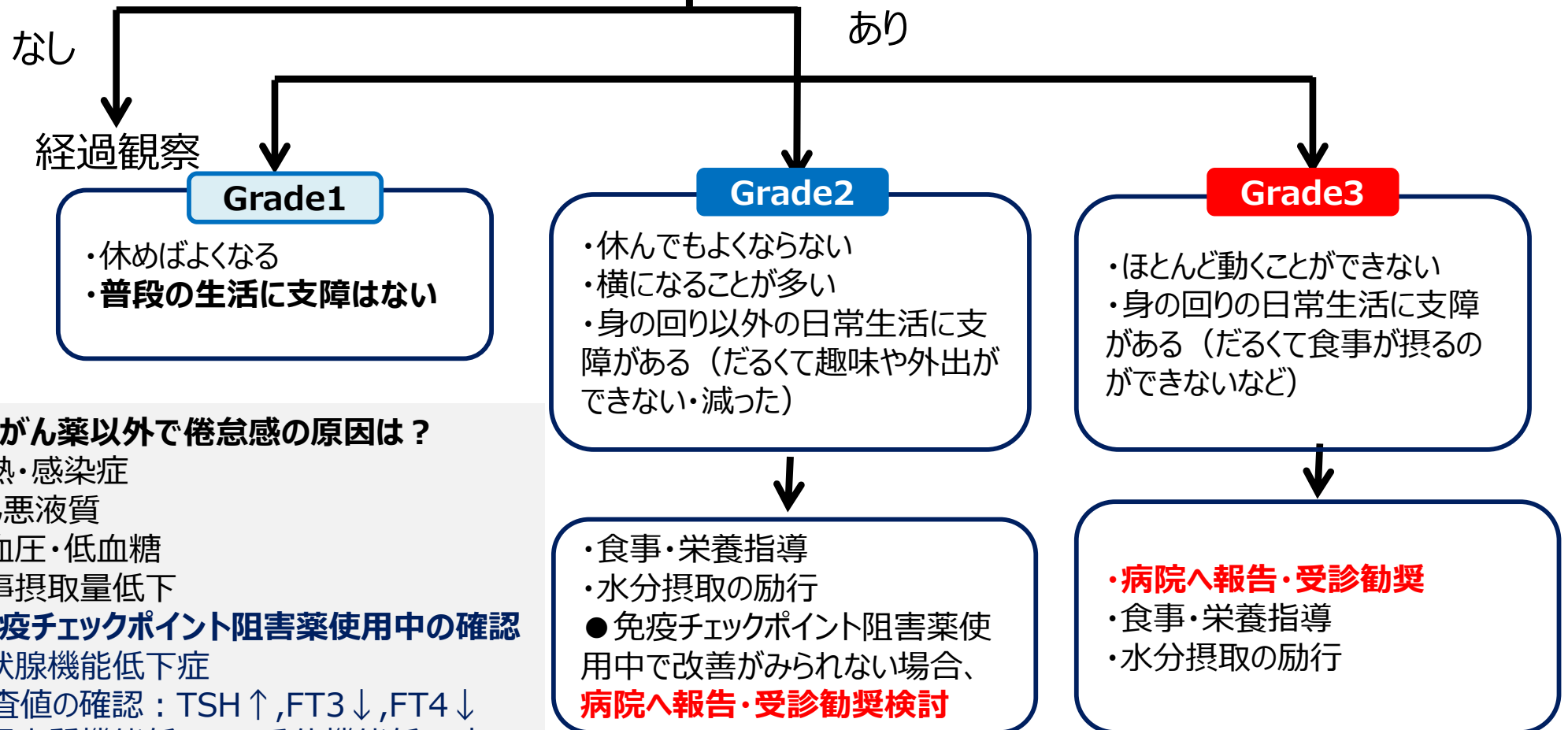


● 抗がん薬以外で下痢の原因は？

- ・感染性腸炎（嘔吐、家族も同症状）
- ・下剤・オピオイドの退薬
- ・経腸栄養剤、抗菌薬、サプリメントの開始
- ・食べ過ぎ、アルコールや刺激物摂取
- **イリノテカンによる下痢**：発熱(骨髓抑制)を伴う場合は致命的な経過をたどる場合があるため病院へ報告
- **免疫チェックポイント阻害薬**：腸炎 ICI使用中の下痢ではロペラミド使用により腸炎の症状をマスク（隠す）し適切な治療時期を遅らせるため積極的に使用しない

倦怠感

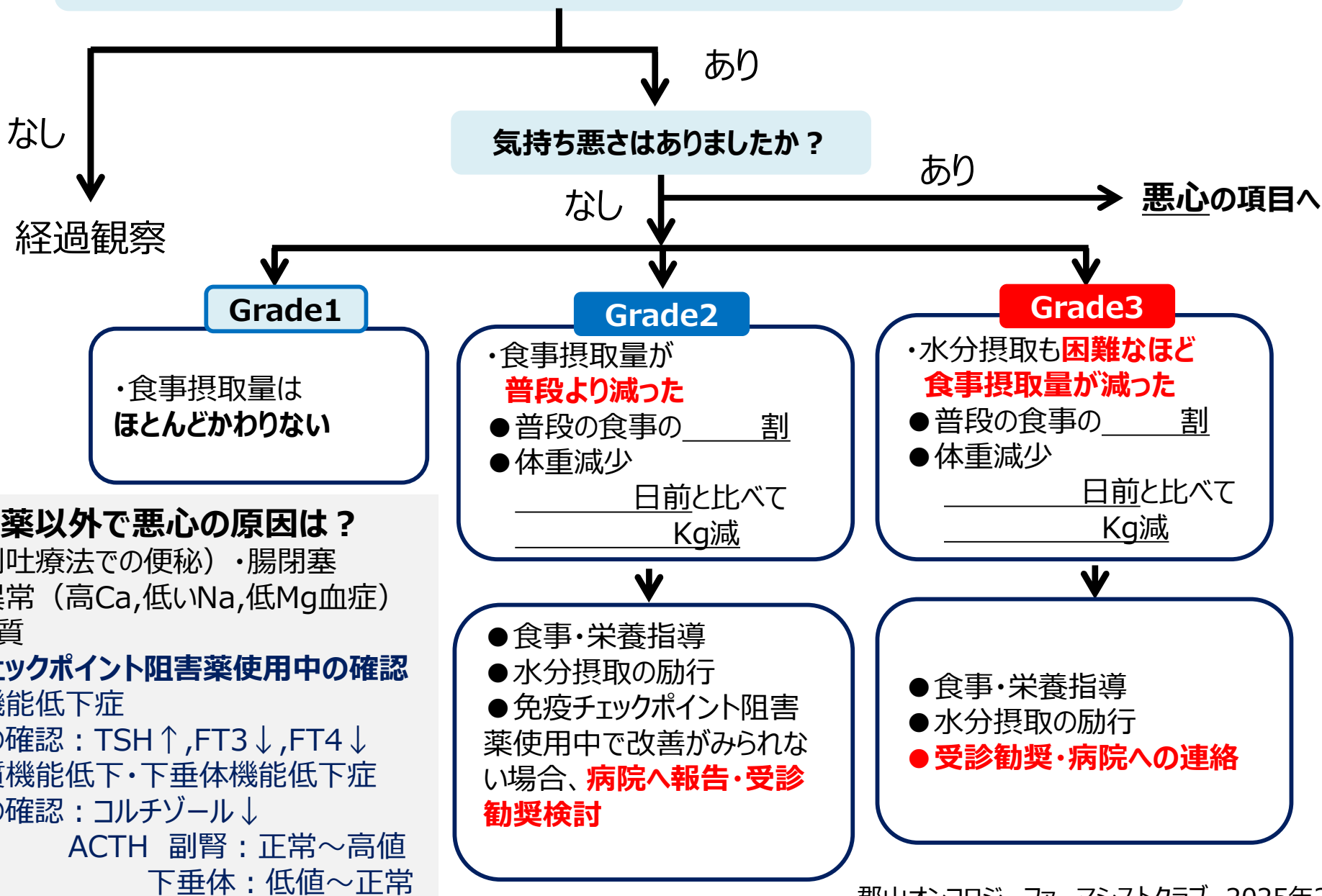
だるさや疲れた感覚はありましたか？



※副腎皮質低下症の症状：全身倦怠感、脱力感、筋力低下、食欲不振、消化器症状（悪心、嘔吐、下痢、腹痛）、意識障害、低血圧、低血糖
※副腎クレーゼ：生命を脅かす状態。直ちにヒドロコルチゾンの注射が必要。

食欲不振

食事量や食欲の低下はありましたか？

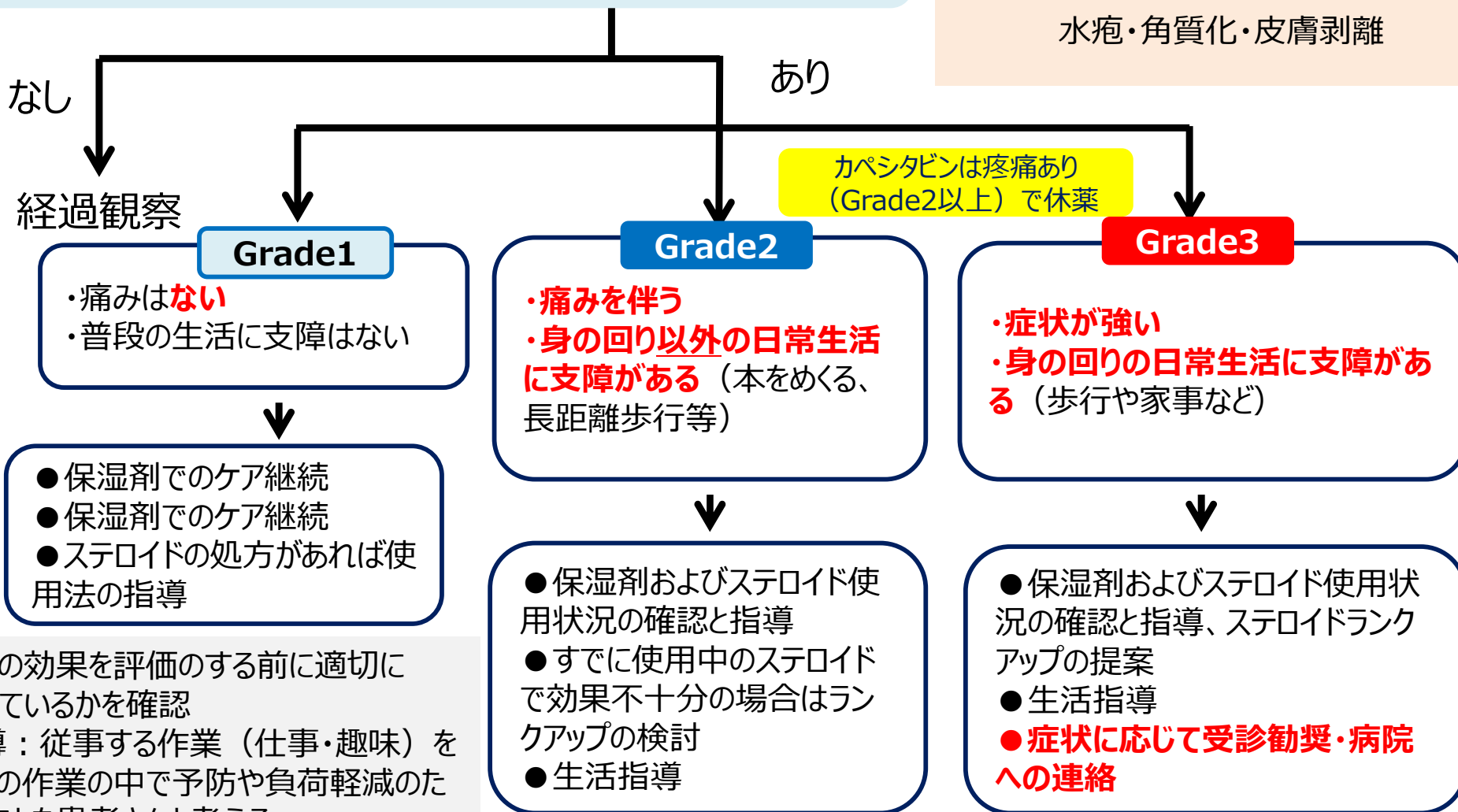


手足症候群

手足の皮膚にピリピリした感覚や腫れ・赤み等の症状はありましたか？

〈部位〉 手（指先・手のひら）
足（指先・足底）
その他：

〈性状〉 ヒリヒリ・腫れ。赤み・亀裂
水疱・角質化・皮膚剥離



・ステロイドの効果を評価のする前に適切に使用できているかを確認
・生活指導：従事する作業（仕事・趣味）を聴取し、その作業の中で予防や負荷軽減のためにできることを患者さんと考える。
革靴→スニーカーへ、または中敷きを使用
素手ではなく手袋を使用するなど